



市中総体 3種目で団体優勝 個人種目でも栄冠



市中総体では、各会場で歓喜あり、涙ありと様々なドラマが繰り広げられました。選手はもちろん、3年応援生徒も拍手のみの応援ですが力を出し切り頑張りました。

さて、見事に団体優勝を成し遂げた「卓球女子」「剣道女子」「剣道男子」をはじめ、個人種目で栄冠に輝いた選手の皆さんなど、各競技で多くの生徒がすばらしい成績を残し、県大会への切符を手にすることができました。本当におめでとう。健闘を心から讃えたいと思います。県大会まであと2か月を切りました。惜しくも県大会に届かず悔し涙を流した仲間の思いを心に秘めてほしい。そして、大村市の代表として恥ずかしくないプレーをするために、さらに精進を重ねてほしいと思います。

一方で、この大会を期に中学校の部活動を引退する人もいますが、本当にお疲れ様でした。目標に向かって努力を続け、最後までやり遂げたことがすばらしい。やり遂げた自分を誇りに思ってください。君たちは、チャンピオンにはなれなかったけどすばらしいチャレンジャーでした。こういったチャレンジを繰り返しながら、「人生の勝利」をつかんでいくことが何よりも大切なのです。

運動・文化部活動の生徒は、県大会、九州大会、全国大会を目指し、勝利を求めて努力を続けてるのですが、負けずに終わる団体や個人は、市でも、県でも、最後の全国でもただ一つ、ただ一人しかいないのです。つまり、全国優勝をした団体や個人だけが、1回も負けなくてこの夏を締めくくることができるのです。ということは、残念ながらほとんどすべての団体や個人がきつとどこかで負ける。それが市の1回戦なのかもしれませんし、全国大会の決勝戦なのかもしれません。そう考えると、負けたあとといったい何が残っているのかが一番肝心なのです。

振り返ってほしい。「良き友」「良き思い出」「たくましい心や体」が自分の中に宝として残っているのであれば、それが必ず今後の糧となります。どうか今まで部活動で蓄えた力を生かし、新たな目標を定めチャレンジを始めてください。(このことは、屋外掲示板にも記しています。)

<球技・武道>

【団体】優勝……卓球女子、剣道女子、剣道男子

【個人】1位……小山哲央(剣道)、森本耕平(柔道)、小野美嘉(柔道)、永岡璃子(新体操)、藤原菜桜(バドミントン)

2位……片山春太(柔道)

3位……坂上慎之介(卓球)、松山りこ(卓球)、島内楓(バドミントン)、山下真奈・今泉華朋(ソフトテニス)

福田粹夕・山下莉奈(ソフトテニス)、松尾乃愛(剣道)

<陸上・水泳>

【リレー】1位……坂田拓海・高橋知暉・田中惺也・田中陽(2年男子:4×100m)

渡辺翔愛・江口優・前田浩貴・中山友翔(1年男子:4×100m)

3位……田中陽・高橋知暉・中尾桂大・荒木蒼生(共通男子:4×100m)

松田純怜・田島怜菜・本田佳穂・荒木凜子(1年女子:4×100m)

【個人】1位……荒木蒼生(共通男子:400m)、藤崎潤慈(共通男子:3000m)、高橋知暉(2年男子:100m)

江口優(1年男子:100m) 藤崎潤慈(3年男子:1500m)、高橋知暉(共通男子:走幅跳)

2位……中尾桂大(共通男子:110mH)、前田浩貴(1年男子:100m)、江口優(1年男子:1500m)

出田愛(女子:200m背泳ぎ)、出田愛(女子:100m背泳ぎ)

3位……坂口惣真(共通男子:砲丸投)、中尾桂大(3年男子:100m)、古賀汐織(共通女子:100mH)

本村扶実子(共通女子:砲丸投)、田島怜菜(1年女子:100m)



長崎っ子の心を見つめる教育週間6月27日(月)～7月3日(日)

18年前佐世保で、19年前長崎で尊い命が失われました。このことを教訓に始まった教育週間。命を大切に
する教育はもとより、自尊感情を育むことを学校をはじめ保護者、地域一体となって取り組んでいかなければ
なりません。27日(月)から命を見つめる集会や道徳公開授業等を行います。玖島中の姿をご覧ください。